

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	槻木の廻り舞台を活用した地域活性化事業
事業主体 (連絡先)	茅野市 泉野 槻木区
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
総事業費	816,332円 (うち支援金: 593,000円)

事業内容

A 槻木の廻り舞台演劇再建事業

① 泉野のテーマソングづくり

泉野小学校児童会を中心に、子ども達が泉野に寄せる熱い思いがあり、音楽家の唐澤史比古先生に泉野の歌作りをお願いしたところ快く承諾していただいた。地域の方々から歌詞(フレーズ)を募集し、これを基に作詞・作曲をお願いし、「すべてのいのちが」が完成した。



【秋の会 子ども木遣り】

B 泉野地区芸能祭

① 槻木の廻り舞台「秋の会」

泉野小学校児童会が企画をし、槻木区・泉野地区コミュニティセンターが協働で、事業の運営をした。出演者は、地元の保育園・小学校・中学校の児童生徒をはじめ、昔舞台で演じていた元青年団の出演、地区外からの出演者による舞台発表など、数多くの団体に出演していただいた。また、地域の皆さんを中心に多くの皆さん(約300人)が、秋の会を見に来ていただき、手作り感のあるとても温かな芸能祭づくりができました。



【秋の会 日本舞踊】



【秋の会 小学6年生】



【秋の会 柳川劇団】

C ハード事業 マイク購入

- ① マイク4本 (床設置型集音マイク)
- ケーブル4本 ほか



【舞台用 マイク】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

A 槻木の廻り舞台演劇再建事業

① 泉野のテーマソングづくり

作られた歌を10月の槻木の廻り舞台「秋の会」での発表を目指し原房子先生に指導いただいた。また、11月の「ようこそ先生」「泉野地区ふるさと祭り」での発表を目指し、作詞作曲していただいた唐澤史比古先生からも地域の皆さんを対象に合唱指導していただいた。作詞作曲にあたり、先生ご自身も何度も泉野においていただき、歌詞には地域の風景などふんだんに盛り込み、メロディも地域にあった爽やかな曲作りをしていただいた。

今後も地域に根差すよう、学校行事や地域の各種イベントに活用できるように、CDの制作を行い、各行政区に配布した。なお、個人には、申込書を地区内全戸配布し、購入していただいた。

B 泉野地区芸能祭

① 槻木の廻り舞台「秋の会」

【演目】

- 泉野大人木遣りと子ども木遣り
- 八ヶ岳泉龍太鼓保存会 子ども太鼓
- 泉野保育園「いずみっこおひさまパワーと動物体操」
- 東部中学校 吹奏楽部「もののけ姫」
- 日本舞踊 律島寿宝と泉野小学校廻り舞台クラブ
- 柳川劇団「無法松の一生、兄弟仁義」
- 立澤青年団「古城、祝杯、祝賀の舞」
- 語り芝居 ミュリ「稲むらの火」
- 原房子さんによる合唱団「縄文の歌、つないで、まあるい星のまあるいムラ」
- 泉野小学校6年生音楽劇「今を生きる」泉野テーマソング「すべてのいのちが」合唱
- 会場全員 「歌：花は咲く」

【観客数】

約300人

C ハード事業 マイク購入

① マイク4本 ケーブルほか

今年度購入したマイクは、様々な出演者に対応できるように、舞台の床に4か所から集音できるようになり、演者のセリフを、舞台全面拾えるようになり、舞台活用の用途の幅が広がった。

【目標・ねらい】

- ① 子供たちの郷土愛の熟成
- ② 地域を超えての文化交流
- ③ 学社連携による地域活性化
- ④ 舞台の有効利用

※自己評価【 A 】

【理由】

小学生が中心となった、地域のテーマソングづくりは、子どもたちと唐沢先生と協働の歌作りや、地域の皆さんへの歌詞の募集による地域の皆さんを取り込んだ活動となり、子どもたちの郷土への思いを熟成させた。

芸能祭「秋の会」では、出演者や観客数は、当初の見込みより増加し、盛大な芸能祭を行うことができた。また、地域外の方々も多く参加していただき、廻り舞台を通じた文化交流も予想を超えた成果となった。

ハード事業では、集音性の高いマイクを購入でき、幅広い演目への対応が可能となり、様々な舞台活用への道筋ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

舞台を活用した地域活性化の取り組みについて、

地域のテーマソングづくりは、音楽家の唐沢先生が小学生や地域の皆さんの地域への思いに共感し「すべてのいのちが」が完成しました。今後は、小学校や地域のイベントなどで幅広く歌われるよう展開していきたいです。

泉野地区芸能祭の取り組みについて、地域の宝である廻り舞台を利用して実施する大変意味のある事業です。子ども達（保育園・小学校・中学校）と地域の皆さんが、連携し芸能祭を開催したことは、地域の絆づくりにとっても役に立つ事業ができました。今後も、地域の絆づくりとして継続して学校と地域との連携を図ることと、更に芸能祭お通し広域的な文化交流の場として更に発展した取り組みを継続する。

継続した取り組みを実現するため、更に舞台運用について地域の協力者を増やしていく取り組みを継続していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある